

令和2年度
社会福祉法人新座市障害者を守る会
事業報告書



～みんなの想いを奏でよう♪～

社会福祉法人

新座市障害者を守る会

令和2年度 社会福祉法人新座市障害者を守る会 事業報告

<はじめに>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染対策に法人全体で取り組み、感染防止対策に必要な物品等は「新型コロナウイルス包括支援金事業」を活用し、職員への慰労金の支給も包括支援事業として行いました。また、感染症BCPの策定を行い、コロナ禍においても、事業を継続していけるよう準備を進めました。その他、職員の確保と育成のため、処遇改善加算の申請を行い、計画に則り研修や手当の支給を行いました。法人全体として、感染防止の為縮小せざるを得ない事業も多々ありましたが、利用者家族の協力のもと、事業を継続することが出来ました。

1 事業の成果

(1) 第二種社会福祉事業

①障害福祉サービス事業

・生活介護事業

生活介護事業所「けやきの家」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

・就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業所「くるみの木」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

・多機能型事業

多機能型事業所「こぶしの森」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

・共同生活援助事業及び短期入所事業

グループホーム「かなで」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

②相談支援事業

相談支援事業所「ぽけっと」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

相談支援事業所「ボタン」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

③移動支援事業

生活サポートハウス「いっぽ」(移動支援事業)の事業概要については、事業報告書にある通りです。

(2) 公益事業

①障害児・者生活サポート事業

生活サポートハウス「いっぽ」(生活サポート事業)の事業概要については、事業報告書にある通りです。

②福祉有償運送事業

生活サポートハウス「いっぽ」(福祉有償運送事業)の事業概要については、事業報告書にある通りです。

(3) その他の事業

①障がい者スポーツ事業

障がい者スポーツ事業の概要については、事業報告書にある通りです。

②地域ふれあい事業

地域ふれあい事業の概要については、事業報告書にある通りです。

(4) 公益的な取り組み

- ①保育実習生、介護等体験実習生の受け入れについては、くるみの木、こぶしの森事業報告書にある通りです。
- ②町内会の防犯係として、かなで利用者と職員で近隣のパトロールを行い、危険個所の報告等を行いました。

2 その他

①各会議の開催

評議員会・理事会

6月19日	第1回 評議員会(定時) 感染対策の為、書面議決	令和元年度決算、福祉充実計画、役員選任案の承認
5月29日	第1回 理事会(定時) 感染対策の為、書面議決	令和元年度事業報告書、決算書、役員候補選定の承認など
6月5日	第2回 理事会(臨時) 感染対策の為、書面議決	評議員会開催方法について
11月29日	第3回 理事会(臨時)	感染症蔓延の影響についての報告、経理規程、定款細則の変更案の承認など
3月26日	第4回 理事会(定時)	令和3年度補正予算、令和3年度事業計画、令和3年度予算案の承認など

事務局会 : 感染症対策の為に中止

施設長会議 : 6/12・7/20・8/6・9/16・9/28・10/28・11/13・12/14・2/8・2/19・3/2・3/16

運営委員会 : 6/26

リーダー会 : 7/8・7/17・8/19・9/23・10/20・11/11・12/2・2/6・3/5

②人事考課制度の構築に向けたプロジェクト

9月14日	第1回	・スケジュール確認
10月12日	第2回	・考課者の確認、考課項目の検討
10月20日	第3回	・考課項目の検討、考課表の検討
11月5日	第4回	・人事考課の進め方の検討
11月25日	第5回	・考課基準の検討

③災害時 BCP 策定に向けた検討会

・7/29・8/3 法人 BCP 策定に向け検討

④感染症 BCP 策定に向けた検討会

・1/18・26 検討 3月末日に職員周知

⑤講師の派遣

- ・相談支援従事者初任者研修への講師派遣…1名

⑥関係機関への参加 ※いずれの会議も感染対策の為中止または書面会議

市教育委員会 / 市総合計画委員 / 市障がい者施策推進協議会

市地域自立支援協議会 / 市就労支援センター運営委員会 / 市子育て支援会議

生涯学習推進会議 / 新座市社会福祉協議会 / 新座市体育協会

新座市商工会 / 東部第一地区地域福祉推進協議会 / 北部第二地区地域福祉推進

協議会 / 南部地区地域福祉推進協議会 / 市地域公共交通会議 / 人権擁護委員

令和2年度 生活介護事業所けやきの家 事業報告

はじめに

令和2年度は、在籍者数36名でのスタートでしたが、年度途中で2名のメンバーがグループホーム等での生活を始めるため退所されました。

長年共に過ごしてきた仲間の退所は、メンバーにとっても、職員にとっても寂しい出来事ではありますが、メンバーの将来を考えた時のひとつの選択肢であることを実感するとともに、ご家族としても大きな決断をされたことをあらためて実感しました。

新型コロナウイルス感染拡大により、多くの行事が中止となり、また、みんなが楽しみにしている外出活動も中止にせざるおえない状況となりました。

そのような中で感染対策を行いながら事業を継続することができました。メンバーにとってあたりまえの場所であるけやきの家で、みんなが毎日笑顔でイキイキと過ごせるように活動を行ってきました。

日課では、散歩、古紙回収や紙すき作業、表現活動として、さをり織りや絵画、理学療法士より指導を受けながら、「体の思い出し作業（体の取り組み）」を継続しました。余暇活動として、ポッチャや音楽、お茶会などを楽しみました。

仲間と一緒に過ごすけやきの家での生活を大切にしていきたいと思っています。

(1)生産活動

[自主製品製作]

紙すき製品・紙粘土製品・トートバック・松ぼっくりや糸で制作したクリスマスツリーやリースの販売を行いました。（前年度に引き続き、けやきの家にて常時販売・就労支援センター前にて「スマイルショップ」での設置販売・随時市内のイベントにて販売・福祉の里にて製品展示）

[新聞回収]

例年同様、堀ノ内・道場・石神・本多地区、および、その他商店等からの古新聞・雑誌・ダンボール回収を行いました。地域の皆様からの変わらぬご協力を頂けていることは、メンバーにとっても大きな励みとなっています。

また、メンバーのご家族からも“工賃が少しでも増えるように“という思いのもと、ご協力いただけていることは大きな支えとなっています。

[ポスティング]

「増木工業株式会社」の広告チラシ配布を前年度に引き続き実施しました。配布した

エリアでリフォームや IH キッチンなどの成約があった場合は、増木さんから成果報酬をいただける機会となり、メンバーのやる気にもつながっていると同時に、車イスメンバーも参加できる仕事として充実感につながっています。

(2) 地域参加活動

[通信配布]

例年同様、毎月1回「けやきの家通信」を、新聞回収協力先と市役所、11ヶ所の公民館等に配布を行いました。

[道場夏まつり出店]

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントは中止となりました。

(3) 余暇支援・表現活動

[活動日]

令和2年度は、コロナ感染症予防のため中止といたしました。

[音楽の日]

NPO法人愛音（あいね）との音楽療法士派遣契約の上、毎月1回「音楽の日」を実施しました。（コロナ感染症予防のため、4月、5月、6月、12月、1月、2月、3月は中止といたしました）

[さをりの日]

みはら手織りひろばの米田先生に来ていただき、毎月1回「さをりの日」を実施しました。（コロナ感染症予防のため、4月、5月、6月、7月、10月、12月、1月、2月、3月は中止といたしました）

(4) その他支援活動

- ・「いっぽ」「ぼけっと」「ボタン」および「かなで」、市内グループホーム、その他福祉サービス事業所と必要に応じて情報交換を行いながら連携を図ってきました。
- ・リフト車3台、マイクロバス1台、軽リフト車1台、軽自動車1台の計6台で、週3回（月・水・金曜日）の送迎を実施しました。[36名中希望者36名を対象に実施]
- ・健康診断（1回/年）、歯科健診以外にも、歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアや、堀ノ内病院Dr.の摂食に関する定期的な往診相談を実施しました。また、必要に応じて医療機関との連携を図りました。
 - ・1回/月けやきの家におけるリラクゼーションの留意点などを理学療法士にレクチャーしていただき、職員による体の取り組みを行いました。
（コロナ感染症予防のため、5月、令和3年1月、2月、3月は中止といたしました）
- ・職員全員を対象にWebによるオンライン研修を行い専門性の向上に努めました。

「けやきの家」年間行事内容

7月	11日	歯科検診
	15日	健康診断（けやきの家：堀ノ内病院医師）
	19日	消防訓練
8月	13～14日	夏期休暇

12月	18日 29～1/3	忘年会(けやきの家：利用者・職員) 冬期休暇
1月	4日	新春顔合わせ(新座観音参拝)
2月	17日 18日	消防訓練 保菌検査
3月	11日 17日 31日	歯科アフター 成人を祝う会 年度末休暇・年度末会議

[保護者会]

毎月第1(火)に開催(コロナ感染症予防のため中止)

[実習生受入れ]

和光特別支援学校 1年生1名(10/27～10/29)
和光特別支援学校 3年生1名(11/9～11/31)体調不良により中止

[介護実習生受入れ]

日本社会事業大学 障がい者支援実習 1名(9/7～9/11)

[保育実習生受入れ]

十文字学園女子大学 保育士養成施設実習(コロナ感染症予防のため受入れ中止)

[支援員研修]

感染症予防研修(10月オンライン研修)
認知症×発達障害研修(11月オンライン研修)
接遇研修(12月オンライン研修)
話し方・折衝・交渉力研修(1月オンライン研修)
就業環境整備改善支援セミナー(2月24日オンライン)
過重労働解消のためのセミナー(2月25日オンライン)
埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修(グループホーム)(3月23日オンライン研修)
(身体障害分野)(3月31日オンライン研修)

令和2年度 就労継続支援B型事業所くるみの木 運営事業報告

<はじめに>

令和2年度は、メンバー30名、支援員9名の総勢39名でのスタートでした。

感染症の影響で4月末から5月まで日数制限をかけての通所となり一日の利用者数を12人前後としました。この間、希望者には在宅作業支援の取り組みを行いました。

また、作業においても感染症の影響があり、作業量が大幅に減ってしまった物や(内職)、作業自体を中止した物(タオルたたみ)もありました。そんな中でも、残された作業を、繰り返し

行う事によって作業量がどんどん増えたり、地域の皆様に協力いただいているアルミ缶の量は変わらず安定してあったおかげで、工賃の大幅な減額はみられず、令和2年度の平均工賃は前年度よりアップした結果になりました。

『みつばちがってん組』として、施設外支援(事業所以外の場所で就労等目指してメンバーのみで活動する事)の取り組みも、4名のメンバーが行っており、感染症の影響で5月～6月中旬までとR3.1月～2月末まで2度の休止もありましたが、継続して行う事ができました。

みんなの楽しみの行事や調理もまた、感染症の影響により中止となってしまいました。そんな中で、何か楽しみをという事で、調理の日の代替えとし「〇〇の日」という日を設け、生活班のみんなで話し合いで、お楽しみスイーツなどを決め、テイクアウトでいただく企画を12月～3月にかけて4回行いました。

この環境の変化で色々和我慢してもらったことが多かった年ではありましたが、この環境をそれぞれの想いで受け止めてくれ、力を発揮した一年でありました。

<1、仕事支援>

① 月末の仕事会議で、外班か中班か選択してもらい、1カ月のサイクルで作業を行いました。

<外班>

- ・協力していただいている地域に、アルミ缶回収に伺いました。
- ・不要になったガス台などを回収し、解体作業を行い分別し搬出作業を行いました。
- ・(株)リハーツの給湯器を定期的にいただき、解体作業を行いました。

<中班>

- ・ストラップ「からふる」、カードケース等「和ごころ」、ヘアゴムの「和ごむ」のくるみの木グッズの作成及び納品を行いました。
- ・太平工業(株)のボルト、ナットの検品作業の内職を行い納品に行きました。

<外班、中班共通作業>

- ・回収されたアルミ缶をカゴにあけ、選別、プレス作業を行いました。
- ・(株)アシストの付録付き雑誌の仕分け作業を行いました。

② 施設外就労

- ・増木工業(株)の草取り作業、コンテナ内混載分別作業を行いました。
- ・市内6か所の公園・児童遊園のごみ拾い清掃に各場所月1回行いました。
- ・市役所古紙回収作業を行いました。
- ・(株)アシストへ出向して、付録付き雑誌等の仕分け作業を行いました。

③ 施設外支援

- ・4名のメンバーが、週に3回、9時～15時半まで、みつばち支援センターにて、本、おもちゃ、DVD等の仕分け作業を行いました。

《その他》

- ・販売会に職員のみ(感染症予防対策の為)で参加してきました。
浦和駅コンコースバザール(7/2～3)
大宮駅コンコースバザール(12/15～17)

<2、生活支援>

① 活動

- ・ 4 班（A 班～D 班）に分かれ、班活動を行いました。
一週間交代の当番活動（朝の出席、お茶入れ、コップ洗い、ゴミ捨て等）や 班対抗のくるみポッチャリーグなど班で取り組みました。年 8 回の（第 3 金曜日）の調理の活動は感染症の影響で中止となり、1 2 月～3 月の 4 回「〇〇の日」としてスイーツなどテイクアウトする企画の班会議をもちました。

② 余暇支援

- ・ 毎月最終木曜日の午後に余暇の時間としてポッチャ・ビデオ鑑賞等を取り組みました。

< 3、その他 >

- ・ 「いっぽ」「ぼけっと」「ボタン」および「かなで」、市内グループホーム、その他福祉サービス事業所と必要に応じて情報交換を行いながら連携を図ってきました。
- ・ 新座市障がい者福祉課を始め各福祉サービス、医療機関、市内の各団体等と連携を図りながら必要に応じて随時支援を行いました。
- ・ 健康診断および歯科検診を実施し、必要に応じて、血圧、体重測定を行い、健康管理に努めました。
- ・ ニュース「のんき 元気 くるみの木」を毎月発行（年 12 回）し、アルミ缶回収協力地域と市役所、公民館等に配布を行いました。
- ・ 職員は、各種研修に行き、専門性の向上に努めました。又、職場内で研修報告会を行いました。

令和 2 年度 くるみの木 年間行事実施内容

6 月	18 日	保菌検査
7 月	16 日 30 日	健康診断(くるみ) 歯科検診(くるみ)
8 月	6 日 13～14 日	消防訓練 夏期休暇
10 月	18 日	新座ふれあいピック(新座総合体育館) <中止>
11 月	5 日	歯科アフターフォロー(くるみ)
12 月	24～1/3	冬期休暇
2 月	22 日	消防訓練
3 月	18 日 31 日	成人を祝う会(くるみ) 年度末休暇

【保護者会】

毎月第 1 水曜日に開催 <コロナ感染症予防のため中止>

【実習生受け入れ】

所沢おおぞら特別支援学校 1 年生 2 名(10/5～10/9) (10/12 以降体調不良の為中止)

所沢おおぞら特別支援学校 3 年生 1 名(10/26～10/30)

【保育実習生受け入れ】

有明教育芸術短期大学 保育士養成施設実習 1 名(3/8～3/23)

【支援員研修】

感染症予防研修（10月オンライン研修）

埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修（知的障害分野）（3月31日オンライン）

令和2年度 多機能型(生活介護・就労継続支援B型)事業所

こぶしの森事業報告

<はじめに>

令和2年度は、年度当初から新型コロナウイルス感染症対策にご家族と協力しながら取り組みました。2名の新メンバーを迎え、1名が新生活を始めるため退所される等、活動する仲間の変化や、退職による職員体制の変化があり、環境の変化の中で、安心して活動できる場をどのように整えていくかが課題となる一年でした。感染対策の一つとして、在宅利用を希望する、メンバーに対して、在宅支援を提供し感染リスクの軽減に努めました。また、感染防止の為、多くの行事を中止としましたが、参加者を利用者として職員に絞るなどして、楽しみの確保に努めました。生活介護事業では、残念ながらPT指導の下のリラクゼーションはかありませんでしたが、職員主導で体の取り組みの時間を確保しました。就労継続支援B型事業では、新座市就労支援センター紹介の新規の請負作業にチャレンジし、メンバーの工賃維持に努めました。

1. 生産活動

生活介護事業（生活班）

- ① 内職（朝霞流通・明友商事）の作業を継続しました。
- ② ヒノキ材による木工玩具（動物パズルやサンタの置物、表札など）の製作、「青森ひば」を使用したまな板や動物パズル、キーホルダーなど、木それぞれが持つ特性を活かした製品づくりを行いました。新製品として、会社のロゴマークをかたどったオリジナルコースターの受注制作を行いました。
- ③ 新座市内で「さをり」の教室を開いている米田先生を、感染防止のため月1回→年1回に変更してお招きし、希望するメンバーにさをり織を教えてくださいました。
- ④ 個々のニーズに合わせて、ウォーキング活動を行いました。

就労継続支援B型事業（就B班）

- ① 内職（朝霞流通、TOP、りそな銀行など）の作業を継続しました。
- ② エステック株式会社タイムカード検品、封入作業
- ③ 富士クオリティーハウス株式会社建築パネルのリサイクル作業
- ④ 株式会社オリエンタルトレード 封入作業
- ⑤ 新座市内で「さをり」の教室を開いている米田先生を、感染防止のため月1回→年1回に変更してお招きし、希望するメンバーにさをり織を教えてくださいました。
- ⑥ 表現活動として、絵画など各人が希望するメニューで過ごせる時間を設けました。

《施設外就労》

車で現地まで移動して作業を行っています。

- ① 蓮光寺（新座市内）の清掃作業
- ② 福祉作業支援センター（みつばち作業所：所沢）で本や CD 等の仕分け作業
- ③ 新座市役所にて各課を回り不要紙類の回収及び所定の場所への集積作業

《生活介護・就労継続支援 B 型 希望者合同作業》

- ① 銀のさらの封入作業
- ② 増木工業株式会社のポスティング作業

2. 日常活動

- ① 感染症防止対策として、昼食を班ごとに分けて時間をずらして提供し、密を避けるため活動場所を分散しながら日課を行いました。
- ② 感染状況を見ながら「美味しんぼ」、「ショパン」、「アスリート」、「ロハス」の 4 班に分かれたクラブ活動を行いました。
- ③ 新座市体育協会と協力して、月約 1 回月曜日の午後の時間に、楽しく体を動かす活動として「レクリエーションスポーツ」を計 8 回行いました。
- ④ 福祉の里や公民館等との連携を深め、感染対策をしつつ昼休み等、メンバーの自由な地域交流の場を設けました。
- ⑤ メンバーの健康管理の一助として、週 1 回～月 1 回体重測定及び、2 週 1 回血圧測定（高血圧・糖尿の方を中心）を行いました。

3. 外部実習

- ① 新座市障がい者就労支援センターと連携して市役所実習や図書館実習を行いました。

4. その他

- ① 健康診断及び歯科検診を実施しメンバーの健康管理に努めました。
- ② 月 1 回こぶしの森通信を発行し地域や他施設への情報発信を行いました。
- ③ 第 11 回障がい者アート企画展への出展を行いました。
- ④ 相談支援事業所「ぽけっと」と連携して担当者会議を開催しました。必要がある場合は施設見学への同行も行いました。

令和 2 年度 こぶしの森 年間行事実施内容

7 月	13 日	メンバー健康診断（TMG サテライトクリニック朝霞台）
8 月	13～14 日	夏期休暇
9 月	29 日	避難訓練
10 月	8 日	歯科検診
11 月	18 日	嘱託医健康診断①
	25 日	嘱託医健康診断②
12 月	21 日	お楽しみ会
	29 日～	冬期休暇 ※1 月 3 日まで
2 月	12 日	避難訓練
3 月	31 日	年度末会議

[保護者会]

※新型コロナウイルス感染防止の為、月1回の保護者会は全て中止

[実習生受け入れ]

令和2年度1名受け入れ

和光南特別支援学校高等部：3年生1名（7月6日～7月10日）

十文字学園女子大学：保育士養成施設実習： 令和2年度1名受け入れ
・3月24日～3月31日

※感染層対策の為、新年度をまたいで実施 4月1日～4月12日

介護等体験事業：教職員を目指す学生の体験実習： 令和2年度1名受け入れ

[支援員研修]

チームリーダーキャリアパス研修：2名（10月5・12日/10月9・16日）

ノロウイルスによる食中毒と予防法について1名（10月27日）※オンライン形式

中堅職員キャリアパス研修：1名（10月21日・11月5日）

社会福祉援助技術研修：1名（11月11日）※オンライン形式

初任者キャリアパス研修：1名（11月11・30日）

メンタルヘルス研修：1名（2月5日）

令和2年度グループホーム『かなで』 事業報告

<はじめに>

令和2年度も共同生活援助（定員10名）と短期入所事業（定員2名）を行いました。共同生活援助は、10名のメンバーが暮らしています。令和2年7月に1名が退居し、8月に1名の入居がありました。新規入居者の募集をした際は8名の応募があり、グループホームの不足を感じています。

短期入所事業は、申し込みからサービス利用までの流れや職員体制が整え、積極的に受け入れを行い、前年度の2倍の方が利用されました。体験的な利用が多いですが、高齢になった親の入院に伴う利用や家族の事情により緊急の利用が複数あり、幅広いニーズに応えられた手ごたえを感じています。一方、虐待による緊急の利用依頼に応えられなかった方がいて、今後の課題となっています。

年間を通じて新型コロナに関連した対応に追われた一年でした。令和2年12月には、新型コロナに感染した入居者が発生し、年末年始を含む14日間、入居者の家族を含む外部の方と接触をしない生活を余儀なくされましたが、この生活を乗り越えたことで「親なき後」の生活をイメージする機会になり、「かなで」の支援を転換する機会にすることができました。

（1）共同生活援助

1. 生活支援の報告

[生活の流れ（平日）]

6:30～	7:30～9:10	15:40～ 16:30		18:00			21:00
朝食	通勤・通所	帰所	入浴	夕食	入浴		消灯

① 食事に関する支援

朝食はパンを主食にサラダ等の副食2品とヨーグルトを提供、夕食はお米を主食に肉または魚料理と野菜料理等3品と汁物を調理して提供してきました。令和2年12月からは、新型コロナウイルス感染防止のため、2グループの入れ替え制にしたり、対面にならない座席へ変更したりする対応をおこないました。

② 通勤・通所に関する支援

自転車、バス、電車等を利用して自力通勤・通所しているメンバーと『かなで』送迎車両による送迎にて通所しているメンバーがいます。令和2年11月に「にいバス」の時刻変更があり入居者が混乱しないための支援を行いました。また、帰所時間がいつもより遅い時には、通所先の事業所と連絡をとりながら対応をしています。

③ 生活に関する支援

洗濯や入浴等、支援が必要な面においてはスタッフによる支援を行ってきましたが、自分でできることを日々継続することで、本人の生活力の向上と自信につながってきました。

④ 夜間に関する支援

夜勤スタッフによる定時巡回と事務室に設置してあるカメラモニターの映像により、夜間における安全の有無を確認してきました。

⑤ 健康管理に関する支援

日常の服薬管理をはじめ、体調不良時においては家庭や日中支援事業所との連絡等を通して、メンバーの皆が健康を維持できるよう支援を行ってきました。

⑥ 金銭管理に関する支援

日中支援事業所の工賃管理や必要な費用について金銭管理を行ってきました。

2. イベント

① 誕生日会

10名それぞれの誕生日には、本人からの希望の料理を聞いて、ケーキ等と一緒に夕食を提供してきました。互いにお祝いし合う習慣もできて定期的な楽しみになっています。

③ 忘年会

新型コロナの感染防止のため、行いませんでした。

④ 定期カラオケ会（自由参加）

毎週金曜日の夕食後にカラオケ会を開催してきました。新型コロナの感染防止のため、令和3年2月から「ひとりカラオケ」に変更して、希望するメンバーが熱唱できる環境を作りました。

3. その他

① 保護者会

令和2年4月に計画しましたが、緊急事態宣言により中止。その後も新型コロナの感染防止のため開催できませんでした。

② 避難訓練

令和2年9月26日（土）に消防避難訓練を実施しました。参加：職員8名、入居者3名

③ 専門研修

朝会地区歯科医師会に協力頂き、令和2年10月24日（土）に「口腔ケアについて」をテー

マにオンラインの研修を実施しました。参加者：職員 6 名、入居者 3 名
 (講師：渡邊理沙(医療法人 静心会 桶狭間病院 藤田こころケアセンター 歯科 /愛知県歯
 科衛生士会 副会長)

(2) 短期入所事業について

[実績] 延べ利用人数：20名 延べ利用日数：77日

令和2年度 相談支援事業所 ぽけっと 事業報告

<はじめに>

令和2年度は「サービス等利用計画」「障がい児支援利用計画」を作成する「計画相談」を行ってきました。8月より、行動障がいのある方に対して適切な計画相談支援を実施するため、強度行動障害支援養成研修を修了した職員を配置し、行動障害支援体制を整えました。

コロナウイルス感染症対策のため、多くの事業所がレスパイト的な短期入所の受入れを休止し、定期的に短期入所を利用されていた本人、家族にとって、コロナ感染症による影響があった一年となりました。また、緊急時にも受け入れ可能な事業所を見つけることも極めて難しい状況となりました。

「親の支援なき後」も地域で暮らしていけることを望む方が多いなか、高齢になった親が病気になる、親自身の生活に支援が必要になるケースが増えたと実感しています。令和3年1月、近隣に1か所のグループホームが開設されました。「ぽけっと」と契約している相談者3名が、通いなれた通所施設を退所して、グループホーム等での生活を始める方がいました。また、通所施設から、グループホームで生活している方の事業所間や、ご家族との連絡調整を行い、自立生活を後押しすることができました。一方、たくさんの方と話をする中で、自立生活を始めるには本人の心の準備ができないという声、また親の心の準備ができていないという声、グループホームで暮らせても通所手段がないから利用できないという声、経済的に困難という声など、様々な声を聴く機会となりました。それぞれの事情に寄り添いながら自立に向けた支援計画を作る相談支援の責任の重さを再確認しました。

地域課題となっている「相談支援専門員」の不足問題は、抜本的な解決方法は見つからず、「ぽけっと」だけでなく、他の相談支援事業所も新規の計画相談依頼をお断りせざるを得ないことが続き、引き続きの地域課題となっています。

<令和2年度の特徴>

計画相談の契約者数

	成人(18歳以上)	児童(18歳未満)	合計
令和2年3月末の契約者数	145名	72名	217名
令和3年3月末の契約者数	92名	32名	124名

【研修・学習会】

- ・ R2.7月 強度行動障害(実践研修)全2回(1名)
- ・ R3.1月 2020年度全国相談支援ネットワーク研修会 インターネット視聴
 テーマ「緊急事態宣言～問われる日頃の相談支援の重み重ね～」

【その他】

- ・ R2.7月－R3.3月 新座市地域自立支援協議会 相談支援部会 定例会
(全8回) 7/10、8/21、9/11、10/23、11/13、12/11、2/12、3/12
2月は文書会議。有志によるオンライン会議実施。

令和2年度 相談支援事業所 ボタン 事業報告

(はじめに)

令和2年5月に開所。「くるみの木」内に事務所を設置して、主に新座市の北部地域に暮らす方と「くるみの木」のメンバーを対象に計画相談支援を実施しました。

初年度のため、相談支援事業所「ぼけっと」と契約している方が「ボタン」へ変更する意向確認を行いながら、変更手続きを行いました。ひとりひとりのニーズに寄り添いながら相談支援に取り組みました。

(令和2年度の特徴)

計画相談の契約者数

	成人(18歳以上)	児童(18歳未満)	合計
令和2年3月末の契約者数	61名	28名	89名

【他機関との連携】

- ・ R2.4月－R3.3月 新座市地域自立支援協議会 相談支援部会 定例会 (全9回)

令和2年度 生活サポートハウスいっぽ 事業報告

<はじめに>

令和2年度は、所長1名(兼務)、主任支援員1名、支援員1名の計3名の職員と、約17名のサポーターで活動をスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用の自粛や、臨時休所をお願いするなど、事業を縮小せざるを得ない状況でした。職員の増員を見込んでいましたが、事業状況により見合わせたため、月曜日の定休日は継続させていただきました。感染対策を行いながら、職員及びサポーター一丸となり様々な需要に可能な限り対応しました。利用者は、年中児から成人の方は50代の方まで、幅広い年齢層の方が、令和3年3月31日時点で135名登録されています。

「いっぽ」は、コロナ禍であっても変わらず、学齢期の方々は、卒業や入学などの人生の節目を迎える時期を一緒に過ごし、保護者の方々と共に子どもたちの成長を喜んできました。一方、高齢化に伴い、ご家族の長期入院や不幸等による家庭環境の変化に伴って、生活支援の方法や内容が大きく変わるケースが増えてきており、高齢化への対応の重要性を実感しております。

<運営>

感染防止対策のため、感染状況に応じて利用自粛のお願いや、臨時休業、利用内容の

調整を行ったため、前年度と比較すると大幅な利用減となりました。年齢層及び障がいの幅が広く、感染リスクの高い方も多いため、感染対策は徹底しつつ利用者への情報発信を丁寧に行いました。

不定期に依頼が入る「いっぽ」の活動は、サポーターの力が大きな支えです。その為、新たなサポーター獲得のため、いっぽ通信によるサポーター募集記事掲載や、近隣大学生へのいっぽサポーター勧誘を行い1名の新規サポーターの獲得ができました。しかし、様々な事情でサポーターを継続することが困難な方もいらっしゃるため、サポーター不足は続いています。厳しい職員体制でしたが、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響もあり職員の採用は見合わせました。その為、多岐にわたる事務作業の効率化のため業務の見直しを検討しました。直接支援の時間確保のため、ITの活用は今後の課題となっています。

また、「いっぽ」の活動拠点である建物は、住宅街にある一軒家で、来所される方々からと好評を頂いています。しかし、建物の老朽化に伴い、より良い生活空間を目指した移転の必要性が高まっています。

<生活サポート活動>

年間を通じて感染症対策を実施し、カラオケや飲食を伴う活動は、感染リスクが高いため、いっぽでの過ごしを中心とした活動を主に提供しつつ、可能な範囲で希望する依頼に応えられるよう調整を行いました。感染対策として、一時預かりの人数を4名までとし、密を避けるよう調整を行いました。しかし、感染状況が落ち着いていた8月に利用希望が増えたため新座市に依頼し、土日に限り「こぶしの森」での一時預かりを許可していただき、より多くの希望に応えられるよう調整を行いました。「いっぽ」は、「困った時のいっぽ」と言われる「緊急対応」も含め、コロナ禍で短期入所など利用できなくなってしまった方の宿泊対応も感染対策を行ったうえで実施しました。また、ご家族の長期入院や不幸等による家庭環境の変化で一人暮らしを始めた方々の生活支援を行いました。それに伴って、窓口がご家庭ではなく成年後見人の方となるケースが出てきております。こうしたケースには、相談支援事業者が中心となり、多種多様な関係諸機関と連携し、支援体制を整えるまでの期間の受け皿として大きな役割を果たし、体制整備後の支援し切れない細かな部分の担い手としても、尽力しました。

また、様々な場面で送迎に関する問い合わせや相談の連絡が多数ありましたが、全てに対応することが困難なため、お断りせざるをえないケースがあり、限界を感じています。

感染者が増加傾向にあると、様々な日中支援事業所を利用されている方からの、感染者との接触に係る連絡が増えてきます。毎月の通信では、いっぽの感染対策をお知らせすると共に、体調の変化や感染の疑いのある方との接触があった場合の対応について、周知しました。

<その他>

- ・畑中町内会 加入
- ・令和2年度埼玉県入間東地区福祉有償運送運営協議会 委員

令和2年度 生活サポート・移動支援利用時間数と件数（新座・朝霞）

	一時預かり		派遣		送迎		外出援助		生サポ	移動支援		総時間数
	時間数	件数	時間数	件数	時間数	件数	時間数	件数	合計	時間数	件数	(生サポ・移動)
4月	136.0	59	0.5	1	105.0	208	0.5	1	242.0	74.0	47	316.0
5月	47.5	22	0.0	0	42.0	84	0.0	0	89.5	34.0	22	123.5
6月	155.5	75	1.0	2	139.0	273	0.0	0	295.5	74.5	54	370.0
7月	202.5	96	0.0	0	148.0	286	0.0	0	350.5	127.5	89	478.0
8月	272.5	100	0.0	0	149.5	293	0.0	0	422.0	152.5	105	574.5
9月	210.5	97	2.5	2	174.5	341	0.5	1	388.0	125.0	88	513.0
10月	233.0	102	0.0	0	179.0	345	4.0	1	416.0	121.0	85	537.0
11月	240.0	108	0.0	0	163.0	317	3.5	2	406.5	170.0	120	576.5
12月	168.5	90	0.5	1	153.5	296	0.0	0	322.0	120.5	102	442.5
1月	106.5	55	0.0	0	112.5	215	0.5	1	219.5	52.5	46	272.0
2月	168.0	84	0.5	1	142.5	274	3.5	2	314.5	119.5	91	434.0
3月	227.0	108	1.0	2	182.5	351	3.0	1	413.5	122.0	86	535.5
合計	2167.5	996.0	6.0	9.0	1690.5	3283.0	15.5	9.0	3879.5	1293.0	935	5172.5

令和2年度 障がい者スポーツ事業 事業報告

【主な活動】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、選手にはとても残念な悔しい1年となりました。今年度4月から9月までの定期練習会が、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となりました。

スタッフで協議を重ね、新型コロナウイルス感染症対策を検討しました。受付を設置し、全ての参加者の検温・健康チェック、消毒液の設置、マスクの着用等多くの方々に協力していただき、11月、12月と練習会を開催しました。

「やっとみんなに会えた」、「サッカーがやっとできる」、「楽しかった」と人との出会いが制限された中で、仲間に出会える・サッカーが出来る喜び、生き生きとした選手の姿がそこにありました。

しかし、1月～3月と緊急事態宣言が再発令され、感染防止のため練習会が再び中止となってしまいました。

このような状況が1日でも早く終息することを祈ります。

【活動実績】障がい児・者サッカーチーム「新座ネクストFC」の活動報告

日にち	場所	内容	選手	ボラ	スタッフ	備考
4月11日(土)	殿山運動場	定期練習会				※1
5月9日(土)	殿山運動場	定期練習会				※1
6月13日(土)	殿山運動場	定期練習会				※1
7月18日(土)	殿山運動場	定期練習会				※1
9月12日(土)	殿山運動場	定期練習会				※1
10月10日(土)	殿山運動場	定期練習会				雨天中止
11月21日(土)	殿山運動場	定期練習会	22名	0名	4名	※1
12月12日(土)	殿山運動場	定期練習会	25名	0名	4名	※1
1月16日(土)	殿山運動場	定期練習会				※1
2月13日(土)	殿山運動場	定期練習会				※1
3月13日(土)	殿山運動場	第9回 MASUKI カップ				※1

※1 新型コロナウイルス感染防止のため中止

令和2年度 地域ふれあい事業 事業報告

【主な活動】

地域ふれあい事業は「講演会やレクリエーション企画などを通じて、障がいのあるなしに関わらず、地域の課題を共に考え、楽しみを共有する中で交流を深める」を目的にスタートしました。

平成30年度の下半期に、『地域との交流』と『公益的な取り組みを目指す』を主においた、地域向けのレクリエーション企画をたて、『地域みなさんと交流をもとう。子供から高齢者の方までみんなで楽しめる場を作ろう。』を目的とした、イベントを開催する企画を進めてきました。令和1年7月に『ちょこっとフェスタ』を開催し地域の皆様と楽しい時間を過ごす事ができました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの開催に至る事は難しい1年となりました。今後、このコロナ禍の中でこういった企画なら開催できるかをスタッフで協議していき、新しい形でのイベント開催に向けて検討していきたいと思います。

【活動内容】

- ・9月に「今後の地域ふれあい事業の取り組みについて」のアンケートを実施しました。